



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月29日

上場会社名 トランコム株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 9058 URL <http://www.trancom.co.jp/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 清水 正久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務人事・財務経理 (氏名) 岩尾 徹 TEL (052) 939-2011
 担当
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	24,241	13.1	1,070	10.3	1,047	13.8	577	9.1
25年3月期第1四半期	21,435	12.5	971	△4.6	920	△14.3	528	△11.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 593百万円 (10.4%) 25年3月期第1四半期 537百万円 (△7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	59.49	—
25年3月期第1四半期	54.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	32,656	17,188	52.6	1,770.05
25年3月期	33,412	17,233	51.5	1,774.94

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,175百万円 25年3月期 17,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,950	11.6	1,960	4.6	1,900	6.4	1,100	5.0	113.36
通期	101,080	14.6	4,890	14.6	4,760	16.0	2,760	17.6	284.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	10,324,150株	25年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	620,498株	25年3月期	620,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	9,703,720株	25年3月期1Q	9,673,806株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する当社株式を控除しております。なお、平成25年6月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する自己株式は15,000株であります。

※ 金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前第1四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新政権のデフレ経済脱却を目指した大胆な政策、円高基調の修正等、景気回復への期待感が高まってきております。一方で、東アジア地域での国際的緊張関係の増幅、将来の消費税増税、不安定な為替相場等、日本企業にとって先行きが不透明な状況が継続するものと思われま

す。物流業界におきましては、国内貨物総輸送量の減少、燃料価格の高止まり等を背景に、平成24年度の運輸業の倒産件数が前年度比10.0%増（東京商工リサーチ調べ）となる等、事業環境は厳しさを増しております。

このような情勢の下、当社グループは、中期経営計画「FF2015」の2年目として、コア事業であるロジスティクスマネジメント事業、物流情報サービス事業、インダストリアルサポート事業の各事業の徹底強化を図り、また、これまで事業ごとに分かれていた営業体制から、各事業グループを横断したALL TRANCOMの営業推進体制を構築し、ワンストップで総合的にサービスを提供してまいります。

当社グループにおける、当第1四半期連結累計期間の主な拠点展開等は、次のとおりであります。

平成25年4月 営業推進グループを新設し営業機能を統合

平成25年4月 東京都港区に中ロット関東センターを開設

平成25年5月 大阪府枚方市に枚方事業所を開設

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は242億41百万円（対前年同四半期増減率 13.1%）、営業利益は10億70百万円（同 10.3%）、経常利益は10億47百万円（同 13.8%）、四半期純利益は5億77百万円（同 9.1%）となりました。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	8,692	8,836	143	1.7
セグメント利益（営業利益）	581	645	64	11.0

一部の拠点における貨物出荷量の減少及び撤退等による減収要因がありましたが、前連結会計年度に開設した拠点の業績への寄与、また、全拠点での日次収支管理の徹底により収益向上に取り組んだ結果、増収増益となりました。

② 物流情報サービス事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	11,648	12,866	1,217	10.5
セグメント利益（営業利益）	400	437	36	9.1

各情報センターで、減少傾向にある空車情報の確保に注力し、成約件数が堅調に推移いたしました。また、新たなサービスとして中量貨物専用センター（中ロットセンター）や、特定顧客専用センター（CSセンター）を関東・関西エリアで開設し、サービス機能の強化に取り組んだ結果、増収増益となりました。

③ インダストリアルサポート事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	392	1,803	1,410	359.2
セグメント利益（営業利益）	0	2	1	393.9

各拠点での営業強化及び㈱スマイルスタッフの連結化により大幅な増収となりましたが、当第1四半期連結累計期間より連結した海外子会社が営業損失となったため、微増益となりました。

④ その他

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	908	978	70	7.7
セグメント利益（営業利益）	9	48	38	392.6

当セグメントは、情報システム開発事業及び自動車整備事業等であります。

- (注) 1. 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。
 2. 平成25年2月22日の株式取得に伴い連結子会社となった㈱スマイルスタッフ（インダストリアルサポート事業）は、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この変更により、当第1四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月分の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。
 3. 非連結子会社であった以下の3社（インダストリアルサポート事業）は、事業上の重要性が増したため当第1四半期連結累計期間より連結しております。
 特蘭科姆国際貨運代理（上海）有限公司
 特蘭科姆人才服務（天津）有限公司
 TRANCOM (HK) LIMITED

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の各残高における、前連結会計年度末との比較情報は次のとおりであります。

① 資産

流動資産は、受取手形及び売掛金が4億22百万円減少、繰延税金資産が1億63百万円減少したこと等により、6億46百万円減少し182億72百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が減価償却等により94百万円減少し、97億82百万円となりました。無形固定資産はソフトウェア開発等により1億29百万円増加した一方、のれんの償却により63百万円減少し、25億10百万円となりました。投資その他の資産が77百万円減少したこと等により、1億9百万円減少し143億83百万円となりました。これらにより資産合計は、7億56百万円減少し326億56百万円となりました。

② 負債

流動負債は、短期借入金が3億49百万円、未払費用が5億34百万円それぞれ増加した一方、支払手形及び買掛金が4億9百万円、未払法人税等が9億25百万円それぞれ減少したこと等により、6億15百万円減少し123億51百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の返済により63百万円、リース料の支払によりリース債務が44百万円それぞれ減少したこと等により、96百万円減少し31億16百万円となりました。これらにより負債合計は、7億11百万円減少し154億67百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が利益処分等により60百万円減少したこと等により、44百万円減少し171億88百万円となり、自己資本比率は52.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月25日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,633	2,557
受取手形及び売掛金	15,427	15,005
商品	8	9
仕掛品	3	2
貯蔵品	19	9
前払費用	324	411
繰延税金資産	276	112
その他	232	170
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	18,919	18,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,061	7,070
減価償却累計額	△2,979	△3,051
建物及び構築物（純額）	4,082	4,019
機械装置及び運搬具	2,652	2,652
減価償却累計額	△1,909	△1,928
機械装置及び運搬具（純額）	743	724
土地	2,940	2,940
リース資産	2,818	2,791
減価償却累計額	△889	△926
リース資産（純額）	1,929	1,865
建設仮勘定	0	4
その他	569	634
減価償却累計額	△388	△405
その他（純額）	180	229
有形固定資産合計	9,876	9,782
無形固定資産		
のれん	1,018	955
リース資産	12	10
ソフトウェア仮勘定	966	1,096
その他	450	448
無形固定資産合計	2,448	2,510
投資その他の資産		
投資有価証券	484	381
繰延税金資産	308	336
差入保証金	1,215	1,212
その他	197	202
貸倒引当金	△36	△42
投資その他の資産合計	2,168	2,090
固定資産合計	14,493	14,383
資産合計	33,412	32,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,180	5,770
短期借入金	2,515	2,864
リース債務	301	273
未払金	234	274
未払費用	1,261	1,795
未払法人税等	1,112	186
未払消費税等	441	295
賞与引当金	426	189
役員賞与引当金	38	9
その他	454	692
流動負債合計	12,966	12,351
固定負債		
長期借入金	264	200
リース債務	1,865	1,821
再評価に係る繰延税金負債	13	13
退職給付引当金	208	209
株式給付引当金	39	48
資産除去債務	385	389
長期未払金	108	107
その他	327	326
固定負債合計	3,212	3,116
負債合計	16,179	15,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	15,851	15,790
自己株式	△972	△972
株主資本合計	17,189	17,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	6
土地再評価差額金	24	24
為替換算調整勘定	△0	16
その他の包括利益累計額合計	34	47
少数株主持分	9	12
純資産合計	17,233	17,188
負債純資産合計	33,412	32,656

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	21,435	24,241
売上原価	20,011	22,570
売上総利益	1,423	1,670
販売費及び一般管理費	452	599
営業利益	971	1,070
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
その他	4	12
営業外収益合計	12	21
営業外費用		
支払利息	45	40
その他	17	3
営業外費用合計	62	44
経常利益	920	1,047
特別利益		
固定資産売却益	14	5
特別利益合計	14	5
特別損失		
固定資産廃棄損	4	7
その他	3	0
特別損失合計	7	8
税金等調整前四半期純利益	927	1,044
法人税、住民税及び事業税	250	310
法人税等調整額	145	157
法人税等合計	396	467
少数株主損益調整前四半期純利益	530	576
少数株主利益	1	△0
四半期純利益	528	577
少数株主利益	1	△0
少数株主損益調整前四半期純利益	530	576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△3
為替換算調整勘定	1	20
その他の包括利益合計	7	16
四半期包括利益	537	593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	535	590
少数株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,686	11,631	365	20,682	752	21,435	—	21,435
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6	17	27	51	155	207	△207	—
計	8,692	11,648	392	20,734	908	21,642	△207	21,435
セグメント利益	581	400	0	982	9	992	△21	971

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△21百万円には、セグメント間取引消去△21百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,829	12,843	1,770	23,443	798	24,241	—	24,241
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7	22	32	62	180	243	△243	—
計	8,836	12,866	1,803	23,505	978	24,484	△243	24,241
セグメント利益	645	437	2	1,085	48	1,133	△62	1,070

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△62百万円には、セグメント間取引消去0百万円、のれんの償却額△63百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 平成25年2月22日の株式取得に伴い連結子会社となった(株)スマイルスタッフ(インダストリアルサポート事業)は、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この変更により、当第1四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月分の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。